



# 古都っ子だより

2021年11月17日号  
岡山市立古都小学校

＜心豊かにたくましく生きる児童の育成＞ 元気な子 やさしい子 考える子

## 負けても笑顔 古都っ子魂

これは、児童が話し合っただけで決めた、今年の運動会のスローガンです。

コロナウイルス感染予防のため、今年の運動会も、観客は保護者のみ、そして、全校を低・中・高の3つの学年に分けての開催となりました。しかし、全校児童が心を一つにして取り組む今年最初の行事ということもあり、運動会が春から延期され待ち遠しく思っていた児童にとって、「やっと運動会ができる」という喜び、運動会を盛り上げようという子どもたちの意気込みが感じられるスローガンとなりました。

当日は、心配された雨も上がり、よい天気になりました。どの学年の発表も、笑顔あり、チームワークありで、約2週間という短い練習期間でしたが、素晴らしい発表でした。また、リレーのときの、勝負に挑む本気な表情からは、教室とは違ったたくましさや頼もしさも感じられました。また、運動会の運営に参加した6年生の子どもたちは、任されている仕事に一生懸命に取り組み、てきぱきと、生き生きと運動会を進めてくれました。大きな行事を運営する役割の重要性をしっかりと自覚しています。

そして、入場券のチェック等を担当して下さったPTAの役員のみなさまや、参加者の制限、マスクや手洗いの徹底、声援の禁止等、ご無理なお願いに快くご協力いただいた保護者のみなさま、本当にありがとうございました。



## 頑張りが伝わってきた 学習発表会



11月6日(土)に、体育館で学習発表会を行いました。今年もコロナ感染予防対策のため、合唱の発表はできませんでしたが、低・中・高学年に分かれて合奏を発表しました。

どの学年の発表からも、子どもたちの表情に、当日までの頑張りが伝わってきました。音楽が得意な子どもたちばかりではありません。最初から調子よくリズムをとることはできません。しかし、ばらばらだった音が重なり合っただけで曲が完成していく過程で得た喜びは、心の糧となり今後子どもたちを支えてくれるにちがいありません。また、みんなで心を一つにして、息がぴったり合った緊張感と連帯感、みんなの心が一つになる姿は、見ていて心が熱くなってきます。一人一人の子どもたちが、それぞれの得意なこと、苦手なことを乗り越えて、精一杯取り組んできたからこそその素晴らしい発表でした。

そんな子どもたちの頑張りは、体育館にお越し下さった保護者のみなさまの心に届き、素敵な笑顔と大きな拍手になって子どもたちに送られました。保護者のみなさまから拍手をいただいた時の子どもたちの笑顔には、やり切った満足感、発表を終えた安堵感のこもったとてもいい表情でした。

## ～ 校内風景…こんなことがありました ～

### 【10/20 5年校外学習】

10月20日、校外学習で三菱自動車水島製作所と倉敷科学センターへ行きました。

自動車工場では、大きな機械を使って組み立てる過程を間近に見ることでその迫力に驚きました。また正確に素早く作る工夫を見つけたり、作っている方の思いを直接聞いたりすることで、教科書で学習するだけでは感じられなかったことを、実感をもって理解できたようでした。



倉敷科学センターでは、科学の不思議を体験できるコーナーがたくさんあり、どれも新しい発見をしながら楽しんで学習をすることができました。